

# 感染症情報 8月5日～18日

## 8月5日から11日分

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	668例(堺市	40例)
②手足口病	407例(堺市	32例)
③溶連菌感染症	291例(堺市	43例)
④RSウイルス感染症	276例(堺市	37例)
⑤ヘルパンギーナ	247例(堺市	17例)

府下インフルエンザ定点301医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	23例(堺市	2例)
---------	--------	-----

## 8月12日から18日分

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	328例(堺市	14例)
②RSウイルス感染症	206例(堺市	12例)
③手足口病	192例(堺市	11例)
④溶連菌感染症	125例(堺市	14例)
⑤ヘルパンギーナ	115例(堺市	6例)

府下インフルエンザ定点301医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	13例(堺市	0例)
---------	--------	-----

が報告された。お盆休みがあり、単純比較できない。

感染症報告数は8月5日から11日までがその前週より15.7%減の2,306件で、8月12日から18日までが1,185件であった。

RSウイルスが上位に上がってきており、要注意である。

8月5～11日の週に府下で麻疹の報告はなく、風疹が2例(堺市はなし)あった。

8月12～18日の週も麻疹の報告はなく、風疹の報告が1例(堺市はなし)があり、年始からの累計は125例となった。